

1. 子供がかかりやすい感染症

1 RSウイルス感染症 2歳までにほぼ全員が感染

1 病原体名

RSウイルス

2 年齢層

乳幼児を中心に全年齢層

3 潜伏期間

4～6日間

4 症状とケア

- ☑ 発熱、せき、鼻水、くしゃみ、喘鳴^{ぜんめい}（呼吸時のゼーゼー・ヒューヒュー音）、食欲減少
- ☑ 発症後3～5日目に症状が強く、回復までに1～2週間かかります。本人に活気がないときや呼吸困難があるときは、受診しましょう。
- ☑ 2歳までにほぼ全ての乳幼児が感染します。一度の感染では十分に免疫を得られず、繰り返し発症します。



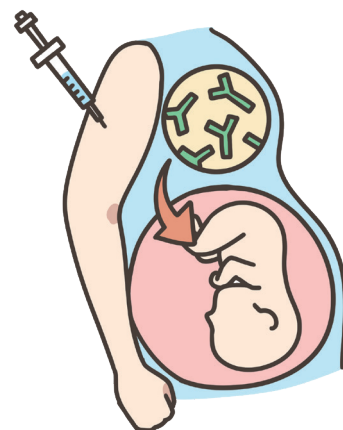
- ✔ 初めての感染時はより重症になりやすく、特に生後6か月以内の乳児や高齢者は、細気管支炎や肺炎をきたすなど、重症化することがあります。

5 診断と治療

- ✔ 症状や、重症になりやすい乳児などは迅速抗原検査じんそくこうげんやPCR検査結果で診断します。
- ✔ 特別な治療法はなく、対症療法を行います。
- ✔ 呼吸困難や脱水症状で入院治療になることがあります。

6 家庭に持ち込まないために

- ✔ 感染経路は、飛まつ感染と接触感染です。
- ✔ 石けんを使った手洗いやアルコール消毒液を使った手指消毒、せきエチケットが大切です。
- ✔ 妊婦に使用する母子免疫ワクチンや、高齢者用ワクチンもあります。



7 家庭で拡げないために

- ✔ 症状がある人は、出来るだけ0~1歳児との接触を避けましょう。マスク着用が可能な年齢の子どもや大人はマスクを使用することが、乳幼児の発症防止につながります。